

消防団たずね歩き



中央消防団第6分団
松野弘行

中央消防団・年末警戒

「災い」と「祈り」と「絆」。激動の一年だった2011年は、真の意味で近代日本の折り返し地点になるかもしれません。そんな年、神戸市中央区の年末は比較的平穏に過ぎました。中央消防団の年末警戒は、火災による出勤もなく、大雨や寒さに遭遇することもなく終わることができました。ただ例年に比べ、人の往来が少ないことには若干の寂しさを憶える年末でした。

中央区は東西に長く、山と海に挟まれて高低差がかなりある地区もあります。ポンプ車を持たない中央消防団では、当該地区の管轄分団が徒歩で坂道をのぼりおりして警戒に当たっています。また、異人館がある北野、有名人の参拝や挙式で有名な生田神社、人と防災未来センターがあるHAT神戸地区、近代日本の幕開けに寄与した旧居留地や乙仲通りなど、観光都市・神戸の主要

スポットを抱えています。そして、神戸の代表的な商店街である元町商店街や三宮センター街、南京町など、繁華街も多くあります。そんな街で警戒に当たっていると、行き交う人や商店で働く人たちが「ご苦労さまです」「頑張ってください」と声をかけていただき、心温まる瞬間です。

中央区内にはここ数年、20階建てを超える多くの超高層マンションが建設されています。私も、超は付かないものの、阪神・淡路大震災で圧壊した旧居留地の再建高層マンションに戻り、住んでいます。先日、18階に住んでいる方が、「たばこを吸いにベランダに出たら拍子木の音が聞こえました。吸い終えてから思わず、火の後始末を再確認しました」と話してくれました。消防団員は、見返りを期待して日々活動しているわけではありませんが、「役に立っている」と思えるのはうれしいものです。これからも大好きな街のために貢献したいと気持ちを新たにしました。



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

